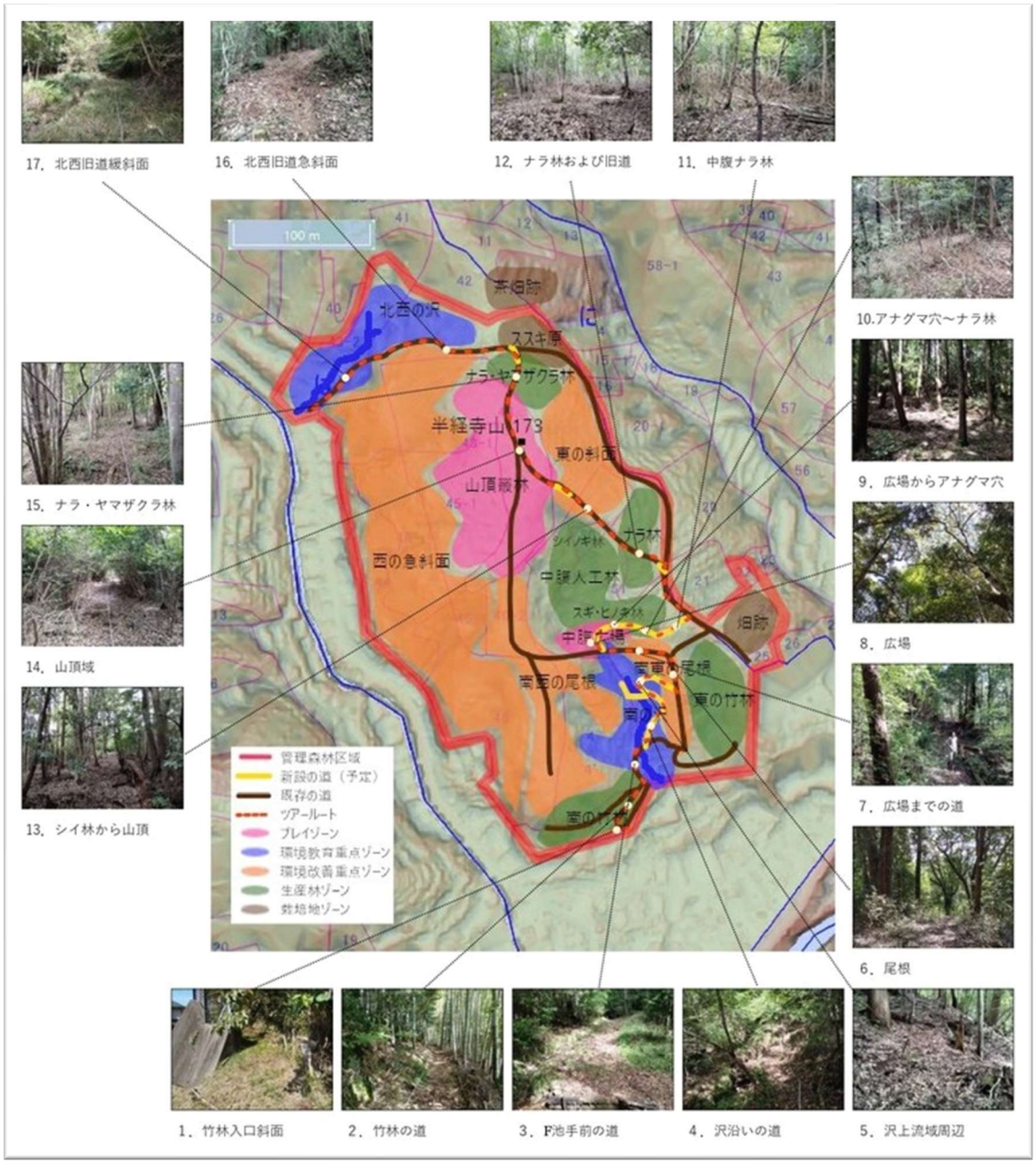
里山整備写真帳

作成　修善の森プロジェクトの会　代表　高橋 洋平

　ツアールートを定め、道づくり、景観の改善、安全対策のための整備を実施した。森林の多面的機能（水源涵養機能、土砂災害防止/土壌保全機能等）向上を図るため、土壌の通気・透水性を高める環境改善施工の方法を採った。以下、整備内容をエリアごとに写真でまとめる。



ツアールートとエリア地図

別添　里山整備写真帳

エリア 1. 竹林入口斜面



施工前



道の脇に溝（浸透水脈）を掘る



斜面に上がる手前の水路を砕石、落ち葉、藁、炭、燻炭を混ぜて入れ、水を通しつつ安全に歩けるように

エリア 2. 竹林の道



施工前



枯れ竹等を間伐。このあと搬出して炭に加工した



道の際に溝（浸透水脈）を掘る



焼杭を打ち、竹を渡して土留とする



裏込め。竹、竹穂、落ち葉、炭、くん炭、掘削土等をシガラませる



立ち上がりの様子



施工後

別添　里山整備写真帳

エリア 3. F 池手前の道



施工前

降雨時、道の上を水が流れる



道の脇、斜面の勾配が変わるラインに溝（浸透水脈）を掘る



ところどころ水が湧く。深く掘り湧出を促す



溝が屈折する箇所。深堀りし、水を動かす



施工後。掘削土で道を平坦に均す。水は溝を流れるようになり道が安定

エリア 4. 沢沿いの道



施工前

全景



施工前

急傾斜、階段施工部



施工前

道脇の法面



道脇の傾斜が変わるラインに溝（浸透水脈）を掘る



焼杭を打ち、かつての伐採残材などでシガラ土留を造作



路面の処理。炭やくん炭を撒く

別添　里山整備写真帳



稲わらでマルチング



法面の溝掘り。奥と手前に点穴



焼杭を打つ。溝、点穴に炭、くん炭



点穴の処理。有機物をシガラませて、水を浄化させながら浸透誘導



シガラ組み施工途中



上下二段のシガラ組みとなった



法面上部の新規の道。簡易な段切り手掘りの溝で取り急ぎの処置



稲わらでマルチング



階段施工途中



施工後

全景

別添　里山整備写真帳

エリア 5．沢の上流域周辺



枯木の伐採　施工前



枯木の伐採　施工後



別の枯木の伐採後。伐採材は土壌で機能するように、土地に組み込む



施工前
急傾斜、階段施工部



階段施工途中



階段の地拵え。段切りと溝掘り



段切り箇所にスコップを挿して炭を入れる



踏み面の丸太を据え焼杭で固定。その裏に有機物等を裏込



階段施工後。左上の「抱きつ木」へのアプローチも整えた



階段登って尾根へ抜ける道。山側を段切り、溝掘り、谷側をシガラ組み



シガラ組みの裏込めの後、炭を撒く



藁でマルチング

別添　里山整備写真帳

エリア 6. 尾根　エリア 7. 広場までの道



歩行経路の低灌木の刈払い
マダニ対策

写真なし

ほかに侵入竹、枯損木伐採
安全管理

エリア 8. 広場



施工前。ホオノキの枯れ枝を下ろす



下ろした枝

エリア 9. 広場からアナグマ穴



施工前。緩傾斜に歩くラインがわかる最低限の道づけをする



施工後。地形を読みながら、段切り、溝切り、シガラ組み等で収めた



滑りやすいところは階段状に。根の浮いている箇所はシガラ等で養生



シガラ組み。路面には炭。このあと稲わらでマルチング



人工林内。最小限の段切り、整地。このあと炭撒き、マルチング

別添　里山整備写真帳

エリア 10. アナグマ穴からコナラ林



重機で道づけ。土手面にシガラを組み、歩く際の不安を解消



シガラ組み。伐採材や落枝を活用。周囲の片付けを兼ねる



施工前

左記のつづきの道、やや急斜面



手鍬などで段切り、歩行面をつくる。簡易な道づけ



こちらも同様。手作業で歩道をつけていく

エリア 11. 中腹コナラ林・ヒノキ林



枯損木伐採、低灌木刈払、落枝整理



手道具で最低限の道づけ



同様

エリア 12. ナラ林およびナラ林脇旧道



施工前。階段施工部



階段最下段は道際のため水脈となる溝を掘る



水脈剤、階段材を集材

別添　里山整備写真帳



水脈溝内の点穴処理



水脈溝（丸太右）と階段の裏込（丸太左）



二段目の床掘



階段組み



施工後



他に枯損木伐採。景観づくり

エリア 13．シイ林から山頂　エリア 14．山頂域



枯損木伐採



枯れ枝落とし

写真なし

他に低灌木刈払い。マダニ対策

エリア 15．ナラ・ヤマザクラ林



低灌木刈込み、藪払い、道つけ



枯損木伐採、集積

別添　里山整備写真帳

エリア 16. 北西の沢旧道　急斜面



施工前　急斜面下部



施工前　急斜面中腹

路面を水が流れ滑りやすく危険



泥が流れ表層が泥詰まり、根が浮く



段切り、炭挿し



段切りして歩行面をつくる。所々、

地形に沿って道の左右に水切り



急斜面上段　施工中



時間の都合で麻袋土のうで踏み面を

納める。土のうには床掘り土を詰め



別角度から。麻袋土のうはやがて分

解されるが、地形は維持されるはず



急斜面下段　施工後

エリア 17. 北西の沢旧道　緩斜面



施工前　枯損木伐採



施工後　枯損木伐採

写真なし

他に、刈払い、ゴミ拾い等

以上

2025 年 2 月末日